

貸借対照表

2023年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	104,134	67,284	36,850
普通預金	2,597,538	3,306,329	▲708,791
ゆうちょ銀行	10,493,000	12,326,000	▲1,833,000
現金預金合計	13,194,672	15,699,613	▲2,504,941
(2) その他流動資産			
未収金	180,000	200,000	▲20,000
その他流動資産合計	180,000	200,000	▲20,000
流動資産合計	13,374,672	15,899,613	▲2,524,941
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	2,197,619	1,997,599	200,020
事務所設備管理資産	6,134,238	6,134,728	▲490
記念事業積立資産	3,000,011	5,470,015	▲2,470,004
事業安定化積立資産	9,004,626	9,004,538	88
危機管理対策支援資産	3,000,195	3,000,167	28
特定資産合計	23,336,689	25,607,047	▲2,270,358
(2) その他特定資産			
差入保証金	3,015,200	3,015,200	0
什器備品	3,192,984	1,325,087	1,867,897
その他特定資産合計	6,208,184	4,340,287	1,867,897
固定資産合計	29,544,873	29,947,334	▲402,461
資産合計	42,919,545	45,846,947	▲2,927,402
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	5,476,500	6,404,500	▲928,000
預り金	5,057,000	5,921,500	▲864,500
流動負債合計	10,533,500	12,326,000	▲1,792,500
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,200,000	2,000,000	200,000
固定負債合計	2,200,000	2,000,000	200,000
負債合計	12,733,500	14,326,000	▲1,592,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	30,186,045	31,520,947	▲1,334,902
	(21,139,070)	(23,609,448)	(▲2,470,378)
正味財産合計	30,186,045	31,520,947	▲1,334,902
負債及び正味財産合計	42,919,545	45,846,947	▲2,927,402

正味財産増減計算書

2022年04月01日から2023年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	207	244	▲37
特定資産運用益計	207	244	▲37
受取入会金			
受取入会金	268,000	319,000	▲51,000
受取入会金計	268,000	319,000	▲51,000
受取会費			
正会員受取会費	18,179,000	17,976,000	203,000
賛助会員受取会費	2,370,000	2,400,000	▲30,000
受取会費計	20,549,000	20,376,000	173,000
事業収益			
研修事業収益	1,448,200	1,929,100	▲480,900
栄養ワークショップ事業収益	1,416,418	1,042,040	374,378
研修会等広告・展示収益	989,000	609,000	380,000
記念事業収益	265,000	0	265,000
事業収益計	4,118,618	3,580,140	538,478
受取補助金等			
賛助金	300,000	0	300,000
受取地方公共団体助成金	346,450	200,000	146,450
受取民間助成金	417,000	350,000	67,000
受取補助金等計	1,063,450	550,000	513,450
雑収益			
受取利息	125	92	33
雑収益	732,555	454,010	278,545
雑収益計	732,680	454,102	278,578
経常収益計	26,731,955	25,279,486	1,452,469
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	2,834,467	2,729,564	104,903
法定福利費	350,788	339,359	11,429
退職給付費用	140,000	140,000	0
旅費交通費	1,958,476	1,781,407	177,069
通信運搬費	612,467	575,092	37,375
消耗品費	964,714	619,016	345,698
印刷製本費	1,399,799	1,044,861	354,938
光熱水料費	193,349	117,546	75,803
賃借料	4,565,269	4,037,200	528,069
諸謝金	2,934,564	3,417,096	▲482,532
負担金	167,400	129,340	38,060
委託費	985,240	693,550	291,690
雑費	16,938	6,720	10,218
減価償却費	575,084	89,651	485,433
事業費計	17,698,555	15,720,402	1,978,153
管理費			
給与手当	1,214,768	1,169,811	44,957
法定福利費	166,492	162,729	3,763
退職給付費用	60,000	60,000	0
会議費	5,910	3,725	2,185
旅費交通費	935,858	520,803	415,055
通信運搬費	1,662,147	1,393,985	268,162
消耗品費	912,477	341,324	571,153
印刷製本費	2,358,702	1,386,702	972,000
光熱水料費	82,862	50,377	32,485
賃借料	1,603,032	1,396,107	206,925
保険料	91,227	84,069	7,158
諸謝金	94,664	110,232	▲15,568
雑費	261,530	171,925	89,605
委託費	672,169	216,270	455,899
減価償却費	245,464	38,422	208,042
管理費計	10,368,302	7,106,481	3,261,821
経常費用計	28,066,857	22,826,883	5,239,974
評価損益等調整前当期経常増減額	▲1,334,902	2,452,603	▲3,787,505
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲1,334,902	2,452,603	▲3,787,505
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲1,334,902	2,452,603	▲3,787,505
当期一般正味財産増減額	▲1,334,902	2,452,603	▲3,787,505
一般正味財産期首残高	31,520,947	29,068,344	2,452,603
一般正味財産期末残高	30,186,045	31,520,947	▲1,334,902
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,186,045	31,520,947	▲1,334,902

正味財産増減計算書内訳表

2022年04月01日から2023年03月31日まで

目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	県民研修事業	小計	会員研修事業	収益など共通			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用利益	0	207	0	0	0	0	207
特定資産受取利息	0	207	0	0	0	0	207
特定資産運用益計	0	207	0	0	0	0	207
受取入金	0	268,000	0	0	0	0	268,000
受取入金金計	0	268,000	0	0	0	0	268,000
受取会費	0	9,089,500	0	0	9,089,500	0	18,179,000
正会員受取会費	0	9,089,500	0	0	9,089,500	0	18,179,000
賛助会員受取会費	0	1,185,000	0	0	1,185,000	0	2,370,000
受取会費計	0	10,274,500	0	0	10,274,500	0	20,549,000
事業収益	115,500	953,700	379,000	0	379,000	0	1,448,200
研修事業収益	1,416,418	0	0	0	0	0	1,416,418
栄養ジャーナル事業収益	0	1,416,418	0	0	0	0	1,416,418
研修会等広告・展示収益	0	143,000	0	0	846,000	0	989,000
記念事業収益	0	0	0	0	265,000	0	265,000
事業収益計	1,531,918	1,096,700	379,000	0	1,111,000	0	4,118,618
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
貸付金	180,000	0	0	0	300,000	0	300,000
受取地方公共団体助成金	417,000	0	0	0	0	0	346,450
受取民間助成金	597,000	166,450	0	0	0	0	417,000
受取補助金等計	1,174,000	166,450	0	0	300,000	0	1,063,450
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	184,835	0	0	0	125	0	125
雑収益	184,835	0	10,770	0	536,950	0	732,555
雑収益計	184,835	0	10,770	0	537,075	0	732,680
経常収益計	2,313,753	1,263,150	10,542,707	0	12,222,575	0	26,731,955
(2) 経常費用							
事業費	2,024,619	809,848	0	0	0	0	2,834,467
給与手当	250,565	100,223	0	0	0	0	350,788
法定福利費	100,000	40,000	0	0	0	0	140,000
退職給付費用	1,264,422	577,014	0	0	0	0	1,841,436
旅費交通費	503,319	109,148	0	0	117,040	0	612,467
通信運搬費	666,781	295,945	0	0	0	0	964,714
消耗品費	1,396,839	2,960	0	0	1,988	0	1,399,799
印刷製本費	138,108	55,241	0	0	0	0	193,349
光熱水料費	3,753,369	811,900	0	0	0	0	4,565,269
賃借料	1,979,520	628,118	0	0	0	0	2,607,638
諸謝金	167,400	0	0	0	326,926	0	494,326
負担金	738,930	246,310	0	0	0	0	985,240
委託費	15,489	810	0	0	639	0	16,299
雑費	492,928	82,156	0	0	0	0	575,084
減価償却費	13,492,289	3,759,673	0	0	446,593	0	17,251,962
事業費計	13,492,289	3,759,673	0	0	446,593	0	17,251,962
管理費	0	0	0	0	0	0	0
給与手当	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	60,000	0	60,000
旅費交通費	0	0	0	0	5,910	0	5,910
通信運搬費	0	0	0	0	935,858	0	935,858
消耗品費	0	0	0	0	1,662,147	0	1,662,147
印刷製本費	0	0	0	0	912,477	0	912,477
光熱水料費	0	0	0	0	2,358,702	0	2,358,702
	0	0	0	0	82,862	0	82,862

(単位:円)

正味財産増減計算書内訳表

2022年04月01日から2023年03月31日まで

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	県民健康づくり事業	県民研修会事業	公益目的の共通	会員研修事業	収益など共通			
賃借料	0	0	0	0	0	1,603,032	0	1,603,032
保険料	0	0	0	0	0	91,227	0	91,227
諸謝金	0	0	0	0	0	94,664	0	94,664
雑費	0	0	0	0	0	261,530	0	261,530
委託費	0	0	0	0	0	672,169	0	672,169
減価償却費	0	0	0	0	0	246,464	0	246,464
管理費計								
経常費用計	13,492,289	3,759,673	0	0	0	10,368,302	0	10,368,302
評価損益等調整前当期経常増減額	▲11,178,536	▲2,496,523	0	17,251,962	0	446,593	0	28,066,857
評価損益等計	0	▲2,496,523	10,542,707	▲3,132,352	0	▲56,823	0	▲1,334,902
当期経常増減額	▲11,178,536	▲2,496,523	10,542,707	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				▲3,132,352	0	▲56,823	0	▲1,334,902
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲11,178,536	▲2,496,523	10,542,707	▲3,132,352	0	▲56,823	0	▲1,334,902
当期一般正味財産増減額	▲11,178,536	▲2,496,523	10,542,707	▲3,132,352	0	▲56,823	0	▲1,334,902
一般正味財産期首残高	▲62,993,863	▲11,206,084	69,268,214	▲4,931,733	0	▲645,820	0	31,520,947
一般正味財産期末残高	▲74,172,399	▲13,702,607	79,810,921	▲8,064,085	0	▲702,643	0	30,186,045
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	▲74,172,399	▲13,702,607	79,810,921	▲8,064,085	0	▲702,643	0	30,186,045

(単位:円)

財 産 目 録

2023年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金	104,134
	普通預金			2,597,538
	横浜銀行 県庁支店		運転資金	2,438,475
	横浜銀行 横浜駅前支店		運転資金	159,063
	郵便貯金		運転資金	10,493,000
現金預金合計				13,194,672
その他流動資産	未収金		逗子市地域リハビリテーション活動支援事業委託精算金	180,000
	その他流動資産合計			180,000
流動資産合計				13,374,672
(固定資産)				
基本財産合計				0
特定資産	退職給付引当資産	横浜銀行/関内支店	職員の退職給付金の引当資産	2,197,619
	事務所設備管理資産	みずほ銀行/横浜中央支店	設備等の更新	6,134,238
	記念事業積立資産	みずほ銀行/横浜中央支店		3,000,011
	事業安定化積立資産	横浜銀行/関内支店	公益目的保有財産(運用益を公益事業の財源として使用)	9,004,626
	危機管理対策支援資産	みずほ銀行/横浜中央支店	災害等における支援	3,000,195
	特定資産合計			
その他特定資産	差入保証金	㈱新井清太郎商店	事務所賃貸差入保証金	3,015,200
	什器備品		ディスプレイ、マイクスピーカー一式、空気清浄機、パソコン3台購入	3,192,984
その他特定資産合計				6,208,184
固定資産合計				29,544,873
資産合計				42,919,545
(流動負債)				
	前受金			5,476,500
	会費前受金		2023年度会費前受金	5,476,500
	預り金		2023年度会費預り金(日本栄養士会会費)	5,057,000
流動負債合計				10,533,500
(固定負債)				
	退職給付引当		職員の退職給付金の引当額	2,200,000
固定負債合計				2,200,000
負債合計				12,733,500
正味財産				30,186,045

財務諸表に対する注記

2022年4月1日から2023年3月31日

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産
什器備品は定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づき計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込経理方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,997,599	200,020		2,197,619
事務所設備管理資産	6,134,728		490	6,134,238
記念事業積立資産	5,470,015		2,470,004	3,000,011
事業安定化積立資産	9,004,538	88		9,004,626
危機管理対策支援資産	3,000,167	28		3,000,195
合 計	25,607,047	200,136	2,470,494	23,336,689

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	2,197,619			2,197,619
事務所設備管理資産	6,134,238		6,134,238	
記念事業積立資産	3,000,011		3,000,011	
事業安定化積立資産	9,004,626		9,004,626	
危機管理対策支援資産	3,000,195		3,000,195	
小 計	23,336,689	(0)	(21,139,070)	(2,197,619)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	5,659,017	2,466,033	3,192,984
合 計	5,659,017	2,466,033	3,192,984

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているので、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	2,000,000	200,000		2,200,000
合 計	2,000,000	200,000	0	2,200,000

第1 第1点(栄養)を通してすべての県民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業

事業区分/公事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実績状況
歯と口の健康週間フェスティバルへの協力	歯と口の健康週間主催のイベントへ協力し、市歯科医師会との連携を図った。	6月に横浜市歯科医師会が開催し、歯と口の健康週間中央行事のため今年度はWEBでの開催となった。	歯と口の健康週間中央行事へまもろう全身の健康はみかきで、コロナに負けないからだづくり～WEB配信 横浜市歯科医師会から案内チラシを配布し周知に協力した
横浜デンタルショー	横浜市歯科医師会主催のイベントへ協力し、市歯科医師会との連携を図った。	横浜市歯科医師会が毎年開催している第50回「横浜デンタルショー」に関係団体として展示依頼があり、今年度初参加した。歯科医療に携わっている歯科衛生士、歯科技工士等の関連職種、企業の展示ブースが設けられ、記念講演会も開催された。	開催年月日：令和5年11月18日、9日 会場：ハンフイコ横浜展示ホールR 内容：「健康は蓄でつかもう」食育活動の展示 参加者：120名
かながわ食育フェスタ	神奈川県が主催する食育事業への参加、協力、食育クイズやゲームを通して楽しく食育や食育への関心を喚起する。	食にかかわる関連企業、団体が夏休みを利用して開催する、食育をテーマにしたイベント。会場では、ブースごとにそれぞれ工夫して食育活動に取り組む。	今年度も新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
WEBかながわ市民活動フェア	かながわ市民活動フェア運営委員会が主催する県民活動センターを活動拠点とする市民ボランティアグループの活動交流と市民への発表の機会となるイベント	市民活動フェアは3年ぶりに、従来の参加型のフェアとWEBでの活動紹介を取り入れたハイブリッドによる開催となった。運営委員会が企画し県民活動センターを利用して団体の活動紹介を展示するフェアを11月に開催。動画での活動紹介を「WEB市民活動フェア2022」としてホームページ特設サイト上で1か月間配信した	開催年月日：10月20日(日)9:00～16:30 会場：かながわ県民活動センターホール 内容：第1県民活動事業部会活動紹介パネル展示 簡単レシピ選んでもらい配布 参加者：50名 WEBフェア11月19日～12月18日
市民公開講座	一般市民や働く人の健康づくりおよび給食の関係者を対象とした公開講座を開催し、新しい栄養や食の話題や知見について知り考える。	健康づくりにおいて、関心のある内容を企画し、市民向け開催する	新型コロナウイルス感染症大防止のため公開講座は中止
健康チャレンジフェア	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会に参画し、健康づくりや生活習慣病予防の行動を変えるきっかけづくりをする。	実行委員会により開催を検討。体験型ではあるが感染対策を講じ、接触機会が少ない内容で資料配布、展示を中心の実施となる	開催日時：令和5年11月29日(日)11:00～16:00 会場：クイーンズモール 内容：「おいしい減塩生活」減塩の資料展示 塩分クイズ参加した方に減塩調味料等渡す 簡単レシピ選んでもらい配布 参加者：80名
おさかな離乳食教室(離乳食レシビブック普及事業)	若い世代の魚離乳食を防止することを狙いとした「とりわけ離乳食レシビ」を使った、赤ちゃん、家族で参加できる講習会を開催。季節に合わせた魚料理を選び実習し、レシビ集の普及をする	横浜市中央卸売市場からの委託で作成した「とりわけ離乳食レシビ」を使用し、地域の子育てで離乳食の調理実習レシビ集を参加者に配布。魚料理を離乳食に活用できるように努めた。今年度は、レシビ集の追加を依頼し、横浜市中央卸売市場より300部送付頂いた	開催年月日：①6月25日 会場：中区子育て拠点「のんびりりんご」 内容：「魚を使ったとりわけ離乳食レシビ」魚を使った離乳食実演展示 参加者：11組(大人11名 乳児11名) 開催年月日：②10月29日 会場：各区子育て拠点「すきつぷ」 内容：「魚を使ったとりわけ離乳食レシビ」魚を使った離乳食実演展示 参加者：5組(大人5名 乳児5名) 開催年月日：③12月3日 会場：神奈川西区子育て拠点「かなーちえ」魚を使った離乳食実演展示 内容：「魚を使ったとりわけ離乳食レシビ」 参加者：5組(大人5名 乳児5名) 開催年月日：④令和5年2月2日 会場：中区子育て拠点「のんびりりんご」魚を使った離乳食実演展示 内容：「魚を使ったとりわけ離乳食レシビ」 参加者：20組(大人20人 乳児20人)
第1県民活動事業部作成カード式レシビ集活用事業	昨年既成事業において、18種類の簡単料理カード式媒体を500部作成した。この「簡単レシビ集」を活用した事業を行う。	①市民活動フェアや健康イベントで展示ブース机の上に並べて、立ち寄り頂いた市民に各料理について説明し、作ってみたい料理のカードを選んでもらい配布した ②レシビ集の掲載しているレシビを使用し、こどもと一緒に作る料理教室を開催した	①市民活動フェア、横浜デンタルショー、健康チャレンジフェアで活用 ②開催年月日：7月2日 会場：青葉区 認定栄養ケア・ステーション BALENA 内容：おうち時間を楽しもう！簡単こども向け 簡単レシビ料理教室 参加者：6組16名(大人6人 こども9名)

第3頁
 表(栄養)を通してすべての市民の健康増進(公衆衛生)に積極的に寄与することを目的とする事業
 事業区分(公) 定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号
 事業名称(健康づくり事業)

事業区分(公)	事業名称(健康づくり事業)	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
研修講演会(市民公開)事業報告等	市民の参加事業で健康・栄養情報を提供地域に根ざした栄養士をアポイントメントし、会員・栄養士に対して事業説明及び事業への協力呼びかけ	市民の参加事業で健康・栄養情報を提供地域に根ざした栄養士をアポイントメントし、会員・栄養士に対して事業説明及び事業への協力呼びかけ	地域住民の健康づくりで関心のある内容の企画し、講演会を実施する。日ごろの食生活や生活習慣を見直す機会とする。会員に向けた当該年度及び次年度の事業説明会を実施する。	中止 公益事業を実施することを新型コロナウイルス感染症大防止のため、研修講演会(市民公開)は中止 会員に向けた当該年度及び次年度の事業説明等は当面開催
在宅栄養ケアを進める打合せ会	川崎市内の在宅ケア状況についての情報交換推進のための検討 多職種との連携についての検討、働きかけ	川崎市内の在宅ケア状況についての情報交換推進のための検討 多職種との連携についての検討、働きかけ	川崎市内の認定ケア・ステーションについて、3箇所の取組事例を聞き情報交換を行い、今後の進め方について検討を行う。	新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
災害時支援対応委員会	川崎市内の防災体制についての情報共有 他職種との連携についての共通理解	川崎市内の防災体制についての情報共有 他職種との連携についての共通理解	市内各区の防災体制や災害対策についての考え方を情報共有し、栄養士会との関わり方について検討する 他職種と連携協力する基本的姿勢を図る。	新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
地域居酒屋づくり だまじりカフェ	地域への市民が集う場所の提供 会場にて血圧・体脂肪・握力測定を行い、食生活指導や調理指導を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域への市民が集う場所の提供 会場にて血圧・体脂肪・握力測定を行い、食生活指導や調理指導を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域包括ケア事業として、地域住民の顔の見える関係の育成を図る。血圧・体脂肪・握力測定を実施する。栄養士による食生活指導・調理指導を毎回、講話と実習など参加者と楽しみながら継続して実施する。	12月開催に向け準備を行ったが、新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
高津区健康づくりのつどいへの参加	関係機関への協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	関係機関への協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容の企画し、会場にて健康(栄養、食事)相談等を実施する。日ごろの食生活や生活習慣を見直す機会とする。	新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
お口の健康フェアへの参加	関係団体(川崎市歯科医師会)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	関係団体(川崎市歯科医師会)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	会場にて健康(栄養、食事)に関する内容のパネル展示を行い、説明者を設置し、市民からの質問や相談に対応した。また、料理カードを来場者へ配布した。	開催年月日:2022年6月5日(日) 会場:アゼリア サンプル広場 内容:パネル展示、料理カード配布(栄養士4名)
たかつ区健康福祉まつりへの参加	関係団体(高津区)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	関係団体(高津区)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容の企画し、会場にて健康(栄養、食事)相談等を実施する。日ごろの食生活や生活習慣を見直す機会とする。	新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
多摩区健康フェスタ2022への参加	関係団体(多摩区)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	関係団体(多摩区)事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	会場にて健康(栄養、食事)に関する内容のパネル展示を行った。	開催年月日:2022年11月25日(金)~12月5日(月) 会場:多摩区役所 1階ホール 内容:パネル展示
かわさき市民祭りへの参加	川崎市で開催される事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	川崎市で開催される事業への参加・協力 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容の企画し、会場にて食に関する内容の展示や健康(栄養、食事)相談等を実施する。日ごろの食生活や生活習慣を見直す機会とする。	開催年月日:2022年11月4日(金)~11月6日(日) 会場:川崎市富士見公園一帯 内容:パネル展示、資料配布(栄養士26名) 参加者:市民834名
あさお福祉まつりへの参加	関係団体(事業への協力) 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	関係団体(事業への協力) 会場にて体脂肪測定を行い、健康(食事、栄養)相談等を実施 健康・栄養に関する資料を配布	会場にて健康(栄養、食事)に関する内容のパネル展示を行い、市民からの健康相談を行った。また、料理カードを来場者へ配布した。	新型コロナウイルス感染症大防止のため中止
市民向け食に関する資料の提供	市民への食に関する情報の提供 食に関するチラシやポスター等を作成し、市民が多く集う場所への設置(配布)や掲示	市民への食に関する情報の提供 食に関するチラシやポスター等を作成し、市民が多く集う場所への設置(配布)や掲示	新型コロナウイルス感染症大防止の観点から市民が集う機会の減少に伴い、食に関する情報を市民に向けて提供することで、市民が健康な生活を送るための一助となつた。	食のチラシやポスターを作成し、希望する団体などに提供した。また、かわさき市民まつり等のパネル展示の際に活用した。

医療(病院)			
公1 食(栄養)を通してすべての市民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分(公) 定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号			
事業名称(健康づくり事業)			
事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
公開セミナー 「市民活動事業」	臨床栄養学における最新の知見を一般市民・会員・関連職種に対してセミナーを開催	公開セミナー 「市民活動事業」	コロナ禍にて感染拡大防止のため中止
医療関係団体との合同の健康イベント等に参加協力	医療関係団体と意見交換を行うとともに、各団体と合同で、一般市民・関連職種を対象にイベントを開催	年間を通して、各団体が関係する健康イベントや自らが開催する健康イベントに関係団体として参加協力を行う。また、団体ごとの意見交換を行う。	神奈川県医療関係団体連合会へ医療事業部会として11月13日横浜市中区開催「ハロー横浜」へ参加。感染対策に配慮しながら多職種と協働して市民への栄養相談を実施した。

医療(病院)			
公2 学術の発展を通して、間接的にすべての市民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分(公) 定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号			
事業名称(研修事業)			
事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
プロック研修会	地域の特徴を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。	昨年改訂された日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類、2021について、在宅ケアに注目が集まり、診察報酬、介護報酬にも関係の深い嚥下調整食について再確認、理解を深め、日々の業務に活用して頂ける内容を企画致しました。	コロナ禍で実施なし
臨床栄養学セミナーⅠ	臨床栄養の応用や最新の話題を知り、現場に活かすことを目的として、会員、非会員を問わず有資格者を対象に実施する。今年度の臨床栄養学セミナーは「嚥下調整食分類2021」をテーマとした。	昨年改訂された日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類、2021について、医師と管理栄養士に講演いただきました。診察報酬、介護報酬にも関係の深い嚥下調整食について再確認、理解を深めるとともに演習を組み入れ、日々の業務に活用して頂ける内容を企画致しました。	開催年月日：令和4年6月25日 開催場所：オンライン併用ハイブリッド開催 コロナ禍にて感染拡大防止のためオンライン併用開催とした。 「学会分類の基本理解と2021対応のポイント」管理栄養士として必要なスキルを学ぼう 講師：摂食嚥下リハビリテーション専門管理栄養士 上島順子先生 参加者88名
臨床栄養学セミナーⅡ	実践中心のセミナーを通じて視座力をつけることを目的とし、会員、非会員を問わず有資格者を対象に実施する。今年度の臨床栄養学セミナーは「嚥下調整食分類2021」をテーマとした。	臨床栄養学セミナーⅡは「嚥下調整食分類2021」をテーマに、昨年改訂された日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類、2021について、医師と管理栄養士に講演いただきました。診察報酬、介護報酬にも関係の深い嚥下調整食について再確認、理解を深めるとともに演習を組み入れ、日々の業務に活用して頂ける内容を企画致しました。	開催年月日：令和4年10月21日 開催場所：オンライン併用ハイブリッド開催 コロナ禍にて感染拡大防止のためハイブリッド開催とした。 「現場で活かす：摂食嚥下療養の臨床とアセスメント」 東京大学医学部附属病院病院医 上羽 留美 先生 鎌倉リハビリテーション専門学校 管理栄養士 高田匠子先生 参加者87名
栄養管理セミナー	栄養管理に関連した給食管理の重要性を身に着ける内容のセミナーを会員、非会員を問わず有資格者及び病院関係者を対象に実施。今年度のセミナーは、「摂食嚥下」を大きなテーマとして開催しました。	給食管理と臨床栄養におけるギャップを埋め、双方理解することによって安全で満足度の高い嚥下食の提供を目指すことを目的に、「なぜ嚥下食が必要なのか」「どういった身体の特徴や食事の形態が食べやすいのか？」など基礎知識を学んだり、他施設の取り組みを話し合ったりするようなグループワークの時間も設け、受講者がより理解しやすい内容となるようなセミナーを企画いたしました。	開催年月日：令和5年2月5日 開催場所：オンライン併用ハイブリッド開催 コロナ禍にて感染拡大防止のためオンライン併用開催とした。 「安全で質の高い嚥下食の提供を目指す」講師：石崎克彦先生(調理師) 参加者61名

事業名	事業内容	事業の概要	実施日時	実施状況	状況
障害福祉施設向け スキルアップセミナー (栄養ケア・マネジメント研修)	障害特性等を踏まえ、個別の栄養・食事に対応した栄養ケア・マネジメントに取り組むため、私たち専門職として必要なスキルを学ぶ。	障害福祉センターにおいての栄養ケア・マネジメントの実務について基本から実践までの手引きが作成された。この教材をもとに、手引きについての講話と所属施設の事例を講義してもらい、障害児者の低栄養と過栄養の二重負荷の対応のカギを学ぶ。	実施日時：令和5年1月31日 (火) 会場：神奈川県栄養士会 会議室 講師：丸いんぽう川崎 管理栄養士 片岡陽子先生 演題：「障害福祉センターにおける栄養ケア・マネジメントの実践」 参加人数：会員17名、非会員1名	リポート開催 片岡陽子先生	
児童福祉施設向け スキルアップセミナー (食育研修)	こどもの食育を実践するときの意義、今後取り組まなければならないSDGsの視点と、保育園でもできる食育について学ぶ。	「食育教育」をテーマに、こどもの食育を実践するときの意義やポイントという視点を盛り込み講義いただき、食育教育とは、農業の生産から加工、流通、消費までの一連の流れ(フードシステム)を軸にした教育のことです。今後取り組まなければならないSDGsの視点と、保育園でもできる食品ロスの取組や食べ物を大切にする心を育てる取組について学ぶ。	実施日時：令和5年2月26日 (日) 会場：神奈川県栄養士会 会議室 講師：東京農業大学 副学長 国際食料情報学部 国際食糧科学科教授 上岡美保先生 演題：「乳幼児期の食糧教育の意義を考えよう」	リポート開催 国際食料情報学部 国際食糧科学科教授 上岡美保先生	

事業報告の附属明細書

2022年度事業報告には、定款第42条第1項2号に「事業報告書の附属明細書」が規程されているが、当年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

収支計算書

2022年04月01日から2023年03月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	500	207	293	特定資産預金金利
特定資産運用収入計	500	207	293	
(2) 入会金収入				
入会金収入	250,000	268,000	▲18,000	268名×1000円
入会金収入計	250,000	268,000	▲18,000	
(3) 会費収入				
正会員会費収入	17,150,000	18,179,000	▲1,029,000	2597名×7000円
賛助会員会費収入	2,400,000	2,370,000	30,000	79社×30,000円
会費収入計	19,550,000	20,549,000	▲999,000	
(4) 事業収入				
研修事業収入	3,392,500	1,448,200	1,944,300	
栄養ヶステーション事業収入	800,000	1,416,418	▲616,418	
研修会等広告・展示収入	254,000	989,000	▲735,000	
記念事業収入	0	265,000	▲265,000	法人設立50周年記念式典参加費、記念誌代
事業収入計	4,446,500	4,118,618	327,882	
(5) 補助金収入				
賛助金収入	0	300,000	▲300,000	法人設立50周年記念
地方公団助成金収入	200,000	346,450	▲146,450	委託事業
民間助成金収入	0	417,000	▲417,000	委託事業
補助金収入計	200,000	1,063,450	▲863,450	
(6) 雑収入				
受取利息収入	500	125	375	普通預金利息
雑収入	1,462,500	732,555	729,945	日栄手数料、50周年記念お祝い金等
雑収入計	1,463,000	732,680	730,320	
事業活動収入計	25,910,000	26,731,955	▲821,955	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
給与手当支出	2,982,000	2,834,467	147,533	事務員給与
法定福利費支出	423,500	350,788	72,712	
退職給付支出	140,000	0	140,000	
旅費交通費支出	2,671,500	1,958,476	713,024	研修会運営、講師旅費等
通信運搬費支出	874,500	612,467	262,033	郵券代、宅急便代等
消耗品費支出	1,061,000	964,714	96,286	
印刷製本費支出	2,005,500	1,399,799	605,701	
光熱水料費支出	185,000	193,349	▲8,349	
賃借料支出	5,742,350	4,565,269	1,177,081	家賃、リース代、会場賃借費、50周年会場費等
諸謝金支出	6,000,000	2,934,564	3,065,436	講師謝礼金等
負担金支出	261,100	167,400	93,700	
委託費支出	0	985,240	▲985,240	50周年記念式典動画配信
雑支出	67,500	16,938	50,562	
事業費支出計	22,413,950	16,983,471	5,430,479	
(2) 管理費支出				
給与手当支出	1,292,500	1,214,768	77,732	事務員給与
法定福利費支出	181,500	166,492	15,008	
退職給付支出	60,000	0	60,000	
会議費支出	20,000	5,910	14,090	
旅費交通費支出	1,159,500	935,858	223,642	理事会、委員会等
通信運搬費支出	1,768,000	1,662,147	105,853	会報誌等送料
消耗什器備品費支出	100,000	0	100,000	
消耗品費支出	542,000	912,477	▲370,477	50周年記念ファイル代3000部等
印刷製本費支出	1,457,000	2,358,702	▲901,702	会報誌、50周年記念誌等
光熱水料費支出	79,500	82,862	▲3,362	
賃借料支出	1,697,150	1,603,032	94,118	家賃、リース代、50周年記念式典会場費
保険料支出	320,000	91,227	228,773	理事、事務員等保険
諸謝金支出	138,000	94,664	43,336	会計監査等謝礼
負担金支出	50,000	0	50,000	
雑支出	210,000	261,530	▲51,530	日栄手数料、お祝い金等
委託費支出	648,000	672,169	▲24,169	50周年記念式典動画配信
管理費支出計	9,723,150	10,061,838	▲338,688	
事業活動支出計	32,137,100	27,045,309	5,091,791	
事業活動収支差額	▲6,227,100	▲313,354	▲5,913,746	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
事務所設備管理資産取崩収入	0	550	▲550	残高証明書発行料
記念事業引当資産取崩収入	0	5,470,015	▲5,470,015	法人設立50周年記念事業
特定資産取崩収入計	0	5,470,565	▲5,470,565	
投資活動収入計	0	5,470,565	▲5,470,565	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	200,020	▲200,020	
事務所設備管理資産支出	0	60	▲60	
記念事業積立資産支出	0	3,000,011	▲3,000,011	
事業安定化積立資産支出	0	88	▲88	
危機管理対策支援資産支出	0	28	▲28	
特定資産取得支出計	0	3,200,207	▲3,200,207	
投資活動支出計	0	3,200,207	▲3,200,207	
投資活動収支差額	0	2,270,358	▲2,270,358	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	▲6,227,100	1,957,004	▲8,184,104	
前期繰越収支差額	0	3,573,613	▲3,573,613	
次期繰越収支差額	▲6,227,100	5,530,617	▲11,757,717	

収支計算書に対する注記

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 神奈川県栄養士会

1. 資金の範囲

資金の範囲は、棚卸資産を除く流動資産及び短期借入金及び賞与引当金を除く流動負債とする。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金 預 金	15,699,613	13,194,672
未 収 金	200,000	180,000
合 計	15,899,613	13,374,672
前 受 金	6,404,500	5,476,500
預 り 金	5,921,500	5,057,000
未 払 い 金	0	0
合 計	12,326,000	10,533,500
次期繰越収支差額	4,536,113	5,530,617